

研究状況報告書

「大阪府下における生命維持にインスリンの必要な1型糖尿病患者数に関する疫学調査」

本研究は、大阪府下における全年齢を対象とした生命維持にインスリンの必要な1型糖尿病患者有病率を調査することが目的です。その方法は、大阪府下の医療機関への調査票郵送による疫学調査と患者集会でのアンケート調査を実施いたしました。

現状報告

1. 大阪府下の医療機関への調査票郵送による疫学調査は、大阪糖尿病協会顧問医、日本糖尿病学会専門医、日本小児内分泌学会会員を中心に、大阪府下の907医療機関に通院中の「大阪府下における生命維持にインスリンの必要な1型糖尿病患者数」を調査しました。(1次調査)
その結果、397の回答をいただきました。その患者数は、2661人の患者数になりました。
現在、未回答の医療施設に1次調査の再依頼のお手紙を郵送いたしました。
またご回答いただいた施設には、詳しい情報をいただくための2次調査票をお送りいたしました。
2. 患者会での、疫学調査としまして、平成29年9月14日のDMVOXにおきまして、ご参加された1型糖尿病患者(約120名)にアンケートを実施しました。その結果、大阪府在住の50名の患者さんよりご回答をいただきました。大阪府外在住1型糖尿病患者は、41名でした。

以上、平成30年1月30日時点での現状を報告いたします。

ご不明な点やご質問などは下記までご連絡いただきますようお願いいたします。

大阪府下の医療機関への調査票郵送による疫学調査の2次調査の集計が終わりましたら、最終報告をさせていただきます。(平成20年5月頃)

大阪市立大学大学院発達小児医学教室 川村智行

問い合わせ 電話 06-6645-3816 FAX 06-6636-8737

メール kawam@med.osaka-cu.ac.jp